THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第三十二號

毎週金曜日發行

大正五年八月四日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

本號目次

□餘裕なき家庭生活……小橋三四子
□時事週評……
□怠け者は居らぬ　紐育婦人記者　エマーソン
□佛蘭西の旅にて會った婦人（下）……島崎藤村
□涼しいお庭巡り……
△深山幽谷の趣ある野口女史のお庭△滿庭のダリヤ
△夏草生ひ茂る闌香女史の家
□一人一評――棚橋絢子……
□年中絶えぬ日本人の花見……安中花子譯
□隱れたる孤兒の母（下）……
□水泳の初經驗……女高師生
□洗濯のしかた……河口愛子
□避暑地先で出來る野菜…千葉晩香
□野菜の料理……櫻井ちか子
□久しぶりの故郷より……澤田斬雲
□オハナシ『太郎と苹果』……廣田花崖
□小說「孃ちやん」……阪東みちゑ
□ありのまゝ『△初めて編輯室を訪ふて△秋蠶に母の手助けして』
□時事……公娼廢止運動費……編輯室より……

婦人週報社

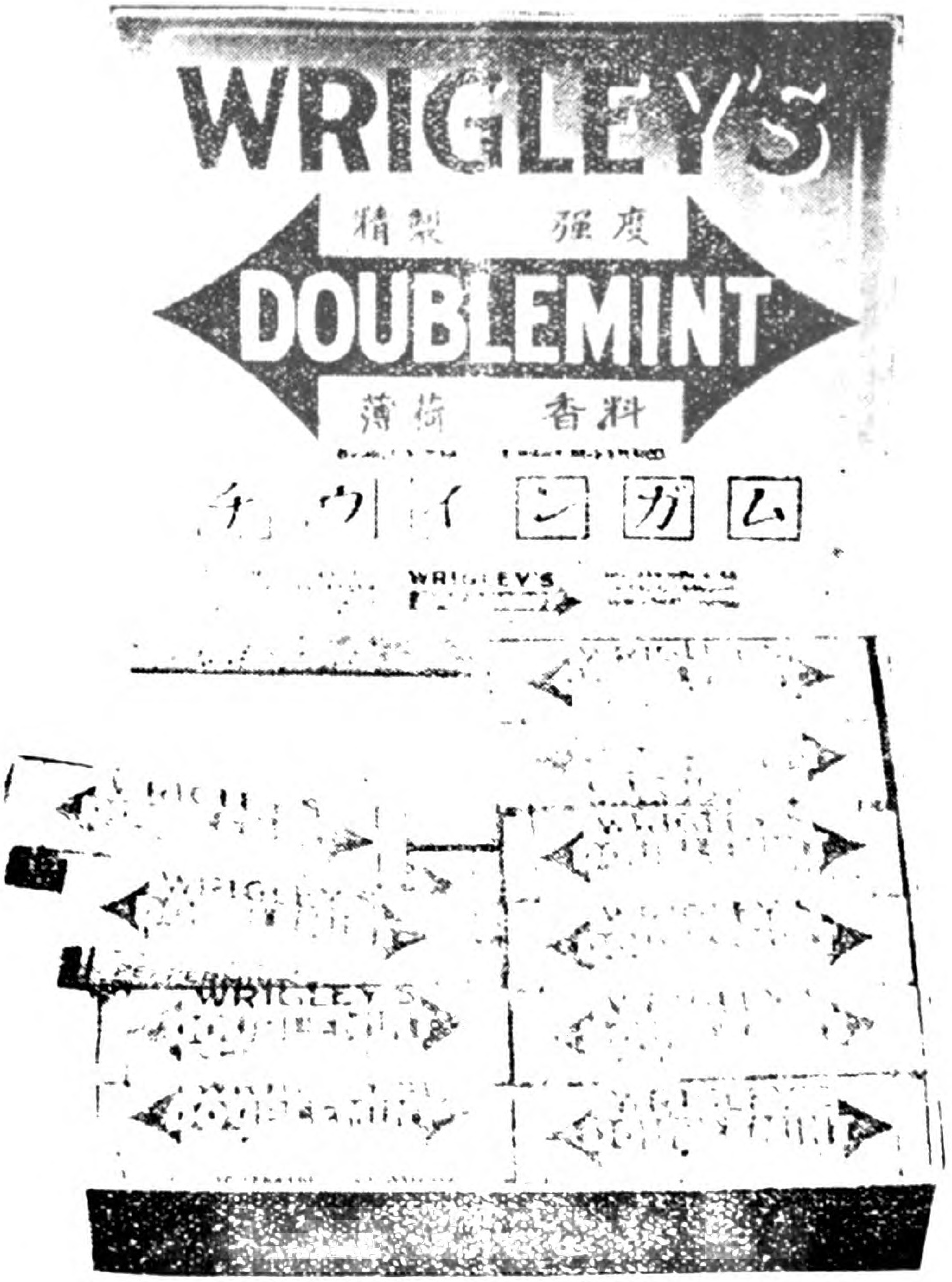
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

リグレー會社製の

チウインガム

御婦人はリグレーの**チウインガム**を召上れ。御婦人は男子と違ひ、家庭内の御仕事が多く、殊には煙草も召上りませんから、お體にも惡く、御退屈も一しほでございます。**チウインガム**は味ひ甘く、薄荷の香ひが口中をサツパリとして、口のクサミを除きます上、**ゴム**になつてから二時間も三時間も、丁度ホホヅキでも嚙んで居るやうに、口中でアシラツて居りますと、日永のお仕事にも決して倦きる事がございません。

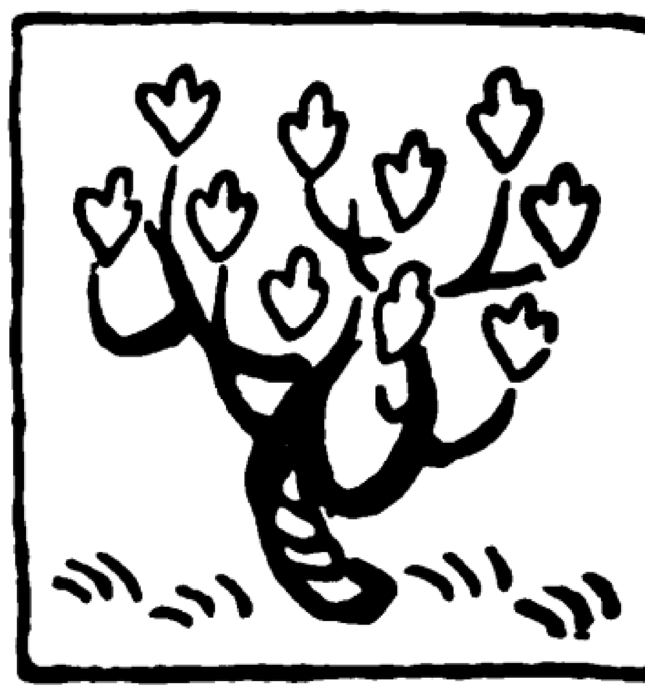


□一包……（短冊形五枚入）……金十錢
□菓子、煙草、賣藥、洋酒、食料品店にあり

發賣元
東京市銀座通新橋際
電話新橋三二六七番
リグレー會社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

餘裕なき家庭生活



不安な生活を紛さんとする快樂主義の苦笑を去り度し

□家庭の寂寥

此の頃米國から歸朝した一青年の云ふには、久し振りで懷しの母國に歸り、父母兄妹に見ゆる嬉しさを味ふも束の間、忽ち耳に入るは家庭の煩瑣であり、目にするは寂寥なる家庭生活であります。經濟難を訴ふるに非ざれば、男子の品行問題に苦しめらるゝ多くの家庭は、一家團欒して樂しむ餘裕なども無いのではあるまいかと、夢みるやうに外遊の思ひ出を追ふて居るのを見て、實に同情に堪へませんでした。

□不健全な經濟狀態

歐洲戰亂の影響で、一部の商業界は、思はざる發展を來し、我が經濟界は稀れに見る豐潤を祝ふて居るさうですが、倘一般の狀態を見れば、頗る疲弊を訴へて居ります。地方の農家は年來の重税に苦しめられ、米價の低い今日は收穫の殆ど半額は税に納めて、其の半額を米鹽の費子弟の教育費に充つるので、數人の教育を爲さうとするには、勢ひ祖先傳來の田畑を賣り喰ひしなければなりません。都會人士も亦物價騰貴、就職難等によつて、收入は、生活の膨脹するのに、いつも反比例をして居る有樣であります。

□敗殘者等の行衛

その上に一人の男子として獨立も出來ない人々が、容易く結婚するので、忽ち妻子を支へかね、其の家族を路頭に迷はしむる者が尠くはありません。然し經濟上の基礎の不完全なるは、未だ救ふ術もあります。男子の不行跡が妻を苦しめ、子女を悲しましめて、遂には其の家庭生活を慘憺たる狀態に陷らしむる者に至つては、一層の治療難を思はざるを得ませぬ。彼れ等孰れも生活の敗殘者等は其の親戚中にて、少しでも立身出世する者があれば、忽ち寄生生活を營まうとして集まつて參ります。而して鐵の如き健康を有する働らき手も、この手拔足拔の爲、其の精力を奪はるゝ事は非常なもので、遂に共倒れの憂き目を見る事はよくある事です。

□原人の生活

米國の現代第一流の作家と云はるゝロンドン氏が「アダム以前」といふ題名で、原人の生活を描いて居るのを見ると、彼れ等は野に行つて野菜、果物を取りて食ひ、山に行つては鳥獸を捕へて食餌とするが、只飽食するのみで、明日に蓄へる術を知らない、彼れ等の日常は食ふ事、寢ぬる事、敵を妨ぐ事よりない所謂刹那の生を貪つて居るのであります。これを讀む人々は、いかに動物に近い人類であるかを哀れまずには居られませんが、然しよく／＼考へて見れば、私共の日常生活もこの境界から幾何の進歩をして居るでありませうか。外形こそ美はしく裝ふて居りますが、明日の計畫のない生活は原人と敢へて選ばぬのであります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□問題にもならぬ問題

近く某新聞紙上で、家計の豫算を立つる可否など、云ふ問題を提出して居るのを見て、問題にもならぬ事を問題としなければならぬ程、我が國の家庭はまだ幼稚であるのかと、人知れぬ悲しみを覺えた事でした。然し今の多くの家庭が、經濟上、極めて不健全の狀態にあるのを見れば、未だかういふ問題を提出して世人の注意を惹く必要も、あるのであると感じましたが、其の論調の稍もすれば豫算を不必要とするのに傾くを見て、なほ行き當りばつたり主義から醒むる事はいかに遙かであらうかと思はせるのでした。

□文明人の資格

家計の豫算は、生活上計畫の基礎を爲すものであります。計畫なき日常生活を送る者は文明人の資格を缺いて居る者であります。我が國の現狀は國家を健全にする爲めに、先づ家庭經濟狀態の病的に陷つて居るのを改めなければなりませぬ。而して自らの責任は自ら負ふといふ勇氣を奮ひ起して着實な生活を營むやうにしたいものです。其處に始めて人々の娯樂も家庭の團欒も生れて來る餘裕が出來るのであります。其の時は生活の不安な者が無理に苦笑するやうな虛僞の快樂主義は拂はれて、國家に眞正な元氣が自ら溢るゝに至りませう。（三四子）

時事週評

□政界の雲行き

幾度か瓦解を傳へられし大隈内閣は、兎も角も日獨戰爭、御大禮、日露協約等幾多の大任を果し、閣員陞授爵の恩命を忝うして、今日目出度終結を告げんとする形勢がありま す。後繼内閣としては、寺内伯の呼び聲が最も高うございます。それかあらぬか、寺内伯を始め、山縣公、松方侯等の、元老も相前後して入京され、近く暑中の閑散なる時事を賑はさんさする消息が洩れさうであります。

□愛蘭問題愈面倒となる

ウルスター六郡を除き、人種、性格、風習、宗教等に於て、英國民と全く別個の國民を形成する愛蘭人は、愛蘭の事は愛蘭人之を爲すべしとの信條の下に、屢々政府に自治案を提出して居りました。陸相ロイドジョーヂは氏首相アスキス氏の委任を受けて愛蘭國の各派首領と會見して其の意見を參照し、一旦自治修正案を議會に提出する運びとなりましたが、其後統一黨のランズダウン卿及び二三の閣員の反對によつて一二重要の個處を修正するに至りました。最の修正案は戰爭中及び戰爭後一箇年間、ウルスター六郡を自治範圍より除外し、此間愛蘭議員をして、依然英國議會に議席を有せしむるといふに在りましたが、新提案ではウルスターを永久に除外し、愛蘭議員をして、英國議會に席を有せしむる項を削除する事としたので、ロイド、ジョーヂ氏の作成せる提案より更に一歩を進め、夫丈け所謂一時的性質から遠ざかつたものであります。此に於てか愛蘭國民黨首領レッドモンド氏は、愛蘭の統一を妨害せんとするかゝる提案に賛同するは、愛蘭に於ける後援者に對し、自ら誓約を破る事なれば飽迄も反對すべき事を斷言しました。首相アスキス氏は戰時に於て國内に分裂を見るの不利を思ふて、再び妥協の方法を發見せんと務めつゝありますが、首相及び陸相の卓越せる手腕は、必ずこの難關を切り拔け得らるゝであらうと信ぜられて居ります。

□直訴事件の責任者懲戒

去月十日帝國大學卒業式行幸の御道筋に於て、直訴したる不敬漢事件につき、取締上の責任者たる西久保警視總監以下の懲戒は、畏き邊りの思召を以て極めて寛大なる措置を取らるゝに至り、一同御寛恕の有難さに感泣致しました。事ある毎に、君臣の間柄の畏くも父子にも增したる親しみを覺ゆるのは、眞に我が國體の誇りであります。

□寫眞結婚の保護

日本基督教女子青年會に於ては、別項時事欄に記載の如く今回寫眞結婚により呼寄せらるゝ婦人の啓發保護事業を開始せんとしつゝあるは、誠に喜ばしき事であります。この上は尙進んで、寫眞結婚を廢止し、何等かの方法にて渡米せしめたる後婚約成立の運びに至らしむるやうに盡力せられんことを望まれます。

怠け者は居らぬ

米國婦人界の現狀

紐育婦人記者　ミス、エマーソン

今春來朝せられ、先頃迄支那朝鮮を旅行して居られたエマーソン女史は過る金曜日本社の編輯室を訪づれて「我が國婦人界の現狀」につき尋ねられ、二時間に亘り歡談致しました。この一篇は其の節の置き土産です。來る九月紐育に歸らるゝ筈の同女史は、今後は彼の地の事にて知らんと欲する如何なる事でも尋ね次第喜んで通信を寄せらるゝとの事を約して歸られました。

□幸福な米國婦人

米國の婦人は、歐洲諸國の婦人より、確かに幸福な境遇に居ります。それは男子が婦人の價値を認め、之れに禮讓を盡すことが多いからであります。然しその結果として一方面には、婦人が多少我が儘に傾き、男子が劇しい生存競爭場裡に、粉骨碎身僅かに贏ち得た金を惜し氣もなく化粧の料に捧げさせるといふ者も無いではありませんが、現今は一般にそれではならぬ、自分達は幸運でかやうな善い境遇に置かれたのであるから、それを感謝し、財産や位置を利用して、何か他人の爲めに働らかなければならぬといふ氣運が盛んになつて參りました。それ故隨分贅澤もし、遊興をも貪る所謂社交的の婦人は居りますが、怠け者は居らぬやうです。

□實の持ち腐りはない

米國婦人は老若貧富を問はず、大概の人は何か仕事を持つて居ります。職業として重なるものは、お國と同じく敎師であります、社會も亦婦人がしやうとすれば、如何なる位置をも與へてくれます。現に私はシカゴ大學を卒業しましたが、其の後一二年外に行つて働らき、再び同校の大學院に入つて、卒業後は母校の敎授になる事を許されました。かやうに高い學問をすれば、それに應じた高尚な職業を與へらるゝので、實の持ち腐れとなる事は、決してありません。

□婦人の選擧權

近來は婦人が選擧權を得て、政治的に働らく事が多くなりました。選擧權に對しても、次第に婦人の考へは進んで參りました。初めは婦人が男子と同樣の財産を持ち、其の所得稅を拂ふのだから、選擧權を持つ事は、自分共の權利であると思つたが、近來は權利よりも寧ろそれは義務であると考へるやうになりました。何も選擧權を持つたからとて、面白い事ではないが、持つ事が正しいからこれを要求するといふのであります。投票の際にも、男子は兎角利害關係に陷り易いが、婦人には割合にその觀念は薄く、眞に人道や社會公共の事を考へて行ふ事が多いのです、例へば工場法案として、無告の勞働者等を保護する制度が設けらるゝとしても、之れが贊否同數に及んだ時、正義を重んずるやさしい心の婦人の一票が最後の決勝を促がす重い使命を果たす場合があります。

□淸敎徒の血液流る

道德上に於ても佛露等の婦人は性の研究などを盛んに行つて、隨分荒んだ氣分になつて居りますが、米國人は、宗敎の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自由を得る爲めに渡つた淸敎徒の血を繼いで居る爲めか、其の第一の魂をなすものは宗敎的であり、從つて婦人界が駸々として進む傍らに、いつも單純な可愛らしい明るい心を失はないのは、其の特徴かと思はれます。

□米國の新らしい女

御國に於ては新らしい女といふのが、非常に嘲笑され、擯斥されて居るやうでありますが、我が米國に於て新らしい女と云へば、第一に政治運動する婦人達の事で、その根源は英國に萠して居ります。然し英國に於ては婦人が窓硝子を破り、爆烈彈を投ずるといふ粗暴の振舞を敢へてするに反して、米國婦人は靜かに貫く、且つ語り、且つ啓くといふやうにし、示威運動としては、僅かに行列を作つて練り歩く位のものですが、其の實權を握ることは早うございました。第二の新らしい女はエレン・ケー等の思想に浸潤して自由戀愛を稱へたりする連中でありますが、こは未だ團體といふ程の勢力はなく、彼處此處の街の隅に、二三人宛居るに過ぎません。

□倶樂部の發達

米國婦人界として近來注目に値するものは、倶樂部の發達であります。倶樂部は今日迄凡そ三階段を經て居ります。第一期には倶樂部は寧ろ社交的の娛樂會に過ぎなかつたものでありますが、次には敎育的、修養的となり、講義録等によつて、文學や婦人問題の硏究を計つて居りました。第三期の今日は實際的に傾き、卑近な事から、改良を實行するといふので、例へば後庭を奇麗にしやうとか、下水工事を完備しやうとか、子供の遊び場を作らうとか云ふ事から、田舎出の無智の女が誘惑に罹つて行くのを救濟しやうとか云ふ企てが着々と行はれて居ります。就中著しい奏効は小兒の犯罪に就ての刑法改正であります。小兒がもしも犯罪した場合、裁判所に立たせるのは、その生涯を却つて暗黑に導くものであるといふので、特別の場所に於て裁判し、多くの場合は感化院に貰ひ受けるといふのであります。これ等婦人の事業は今や慈善的に行はるゝにあらずして、其の役員等は之れに從事する特別の敎育を受け何れも有給で、從つて永久に發展して行きます。

□職業は自己の道を啓く爲

職業に對する觀念は、近來著しく變化して參りました。昔ならば衣食に差支へない家の婦人が、職業に從事すると、いかにも物好きのやうに馬鹿にしたものですが、今日は職業は糊口を凌ぐ爲めといふよりも、自己の道を啓く尊い意味を持てる事として、寧ろ徒食する婦人を笑ふ傾きがあります。またお國に於ては敎育者も新聞雜誌に於ても、頻りに女子に良妻賢母たれと叫ぶやうですが、米國に於ては、やかましく口にさやうな事は申さないが、其の婦人は實際良人の好伴侶、子女の賢い指導者となつて居ります。個人主義の米國の家庭は往々親子の間柄が冷たい樣に思はれて居りますが、親は子供の一番よい道を喜んで歩んで行く事が、わが爲めには最も樂しい事であるとするので、子はその自由に對して滿腔の感謝を捧げて居ります。然し精神はそこにあつても御國の如く美はしい禮式のないのは事實で、將來は大にこれに習つて、親子の禮によい形式が加つて來る事を望みます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

佛蘭西の旅にて
會つた婦人（下）

島崎藤村

□古い佛蘭西氣質の婦人

話は少し變りますが、私は一二文學上の著作などもあるユージン・モレルと言ふ人と交際するうちに、その年老つたお母さんと言ふ人が優雅と敏捷とを兼備した古い佛蘭西氣質を最もよく表はした一人の賢こい婦人であることを見出しました。（この人は昨年の冬、私がまだ同地に滯在中に故人となられたのですが）。この老婦人の紹介で、私は色々な女の人に合ひましたが、今話さうとするニゼットジユバンなども然うして知り合ひになつた一人であります。ジユバンさんは漸く三十位ゐの婦人で、お父さんは佛蘭西人、お母さんは日本人で、十四の年まで日本で育つたとかで日本語などもよく話すし佛語はもとより英語なども流暢なものでした。この人はある美術上の會の委員に擧げられてゐる女の美術家の一人で、年老つた叔父さんと二人住つてゐましたがその專門は裝飾美術の一部で、主として象牙の柄に彫刻してゐるやうでした、ダヌンチオの作物を論じ、ルノアールの繪畵を評するやうな婦人で、レミー・ド・グールモンの書いたものを私に最初にすゝめたのもその婦人でした。何時でもあらゆる藝術上の現象に一個の意見を持つてゐるので私はよくその人から彼地の婦人の持つ趣味や思想などを聞きさつたりすることがありました。

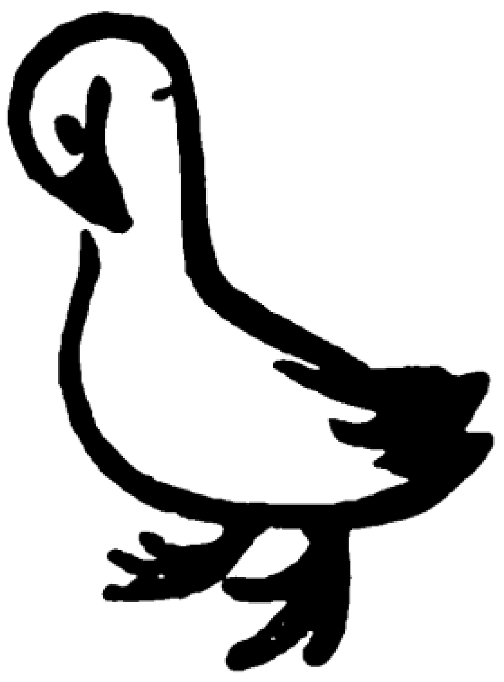
□若い美術家ジバンさん

ある時ジユバンさんの話の中に、『自分の知つてゐる範圍にでも頻りにニーチエなどに就いて話す婦人もありましたが、ニーチエの哲學の中には超人と言ふことがございます。けれど其れ等の婦人の中に、ニーチエのといつた超人が何れほど分つてゐませうか。』と言つた事がありました。この言葉は頗る短かいけれど、フランスの知識階級を形造つてゐる婦人達の内部の狀態、生活の呼吸などが窺はれるやうな氣がしました。又繪畵のことからセザンヌ（後期印象派の一人）の事に話が及んだ時、ジユバンさんが言ふには『セザンヌの繪などが味はれると言ふのは極く狹い範圍のもので、日本で言ふならばお茶の湯でも分る程の人でなければ分らないでせう。』と其樣な事も話して呉れました。で私が問ひ返して、『どういふ繪がフランスの一般の人から賞美されてゐるでせう。』と尋ねると、ジユバンさんが言ふには『チヤンボルローランス（中村不折氏等の先生）などこそ今でも一般の人の眼には大家として寫つてゐるでせう』と。

□婦人問題も氣息を潛む

社會運動としては一時フエミニストの運動が盛んに起つて婦人の權利を叫ぶ聲の激い時があつたらしい、批評家のフアゲーはこの婦人運動について一冊の著述さへ殘してゐるし、小說家の中には之を題材にして婦人問題を小說に描いてゐるが、もう盛んな時は過ぎ去つて、全く息をひそめて居りました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



凉しいお庭巡り

居ながら自然の郷に親しまるゝ方々

深山幽谷の趣をたゝへた

學習院教授 野口女史のお住ゐ

『私は此處からジッとかうして眺めて居りますと、ある所からは高い山の麓――富士や淺間のやうな高山の山裾のやうな感じが湧き、ある所からは木立の深い、苔の青い、年中ジミ〳〵した深山の趣きを覺えますんですの』と都のほとり、千駄谷の奥で、風鈴の音の涼しい椽側に籐椅子を引き出して野口幽香子女史は仰有る。

『あの草の下を流れる小川の水のせゝらぎは清らかな心地が致しませう。ほんとにあの清水は、山の峽を落つる谷川の水のやうに、眞夏でも夫れは冷たうございますよ。まあ狹い所でございますけれど降りて御覽遊ばせ。』

私は庭下駄を穿いて降りた。全坪數は六七十坪に充たないであらう。右を向いても、左を向いても直ぐお隣りの庭と境になつてゐるらしいのに、妙に廣々とした感じを與へる。左の方の秋草の叢から正面に向つて斜に丘の形を描いて雜草が生ひ茂り、(實は麗々たる名稱のある秋草の類ではあつた。)その繁みの下を幽かな音を立てゝ小川が流れてゐた。小川には丸木橋が架つて萩や薄が深く枝を垂れてゐる。青い夫れ等の草の中に、ぽつとりと褪紅色に鬼百合が咲いてゐるのも深山らしい情緒をそゝつて宜い。橋の向ふ側には落葉松が繁つて、その根本に姫石南花が小さい蕾を持つてゐた。其處いら一帶から向ふの垣根までは雜木の植込で木には枯樓の蔓が卷きつき、土の上には鈴蘭が繁つてゐる。三つ四つ圓い實が見えたら、『冬になると赤くなつて美しいんですよ。』と女史は嬉しさうに微笑して居破つた。小川は半圓を描いて雜木林の奥にそゝぎ、小川の川縁から庭の左の方は杉の林である。杉苔に交つて岩煙草や岩團扇などが水面に姿を寫してゐた。日蔭の鬘が生ひ繁つて長い蔓を美しく延ばしてゐた。杉林の繁みをすかして宛然野原を望むやうに向ふの隅にも秋草があつて桔梗や女郎花や山菊の花が匂つてゐる。じつと見てゐると何も解らぬ私にも野や山の自然をそのまゝに移し植ゑたものゝやうな、感じに浸る。この木や草の大方は旅行先きから女史が持つて歸へられたものなさうな。最後に椽側の直ぐ前の芝草の中の小さい池を指差し、『この池は山間の池の色をたゝへてゐますよ。』と仰有る。よく見ると成る程、數千年來古木などが倒れては朽ちた水のやうに、薄黑く濃い藍色に澄んでゐた。自ら幽邃な感じが起る。杉林の下から涼しい風がくる。小さいながら趣味豊かな涼しい庭。

満庭のダリヤ

諏訪部氏の邸

某日――大久保百人町にダリアを見にゆく。新大久保の停車場から約二丁、諏

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

訪部氏の庭園である。全坪數四百坪、夫れに悉くダリアが造つてあつた。カクタスピオニー、ゼラニユーム、ボンボンなど約百數十種が色とりどり巧みに配置して植ゑ込んであつた。黃色い花、眞赤な花、白い花黑つぽい花などが青い葉に混つてぽとぽとと太い幹の尖端に匂つてゐる強烈な眞夏の日光は夫れ等の青い葉の上に、花の上に、強く彈けてゐた。この強い光線と強い色彩！夫れが如何にも夏の氣分を匂はして、凄壯な感じをそゝる。床の高い家には青簾が下つて、風鈴が鳴つてゐた。

夏草茂る

蘭香女史の家

『まあ朝露が繁くて、お徒歩難くゐらつしやいましたでせう。すつかり草が道をふさいで居りますから。』明け方早く、露のまだひぬ間に田端の川崎蘭香さまをお訪ねすれば、必つとあの水々しい瞳を思ひ深げにしばたゝいて、蘭香さまは斯う仰有いませう。一寸風變りのお住居でございます。川崎と標札をうつた丸木柱の門を這入ると道の兩側には丈なす四季折々の草が繁つて、青い葉の間からチロチロと赤や白の花が窺てゐる。薄や萩の繁つた邊からは夕方など細い蟲の聲が忍びやかに流れて來ます。叢は玄關の入口までつゞいて、蘭香さまの書室の椽からは花を折ることも出來ます。『かうして草が青々と茂つてゐると爽々しい氣分が致しますの、草が一本もないやうなお庭は私には何だか物足らない感じが致しますもの。しかし、之れは草をとることが臆劫な爲めに思ひついた無性からなのかも知れませんわ。』と誰れかが何か言ふと微笑なさいます。裏庭は大きい木の植込がつゞいて障子をすつかり明け放してあると寒いやうな風が家の中に吹き入ります。之れも風致ある庭の一つでありませう。

（一人一評）

棚橋絢子

口我が婦人界に新世紀が生れ出やうとして、劇しい渦卷を打つ只中より、所謂新らしい女なんぞの苦しまぎれに現はれ出づる今日、七十八歳の棚橋絢子刀自が今尚は一方の旗頭として教育界に其の位置を保つて居るのは、聊か奇異の感なき能はずであります。人或は其の裡に新進の知識を畜へた令息一郎氏のあるあつて、執政宜しきを得るのであらうと考へるかも知れませんが、一と度刀自に面接して、其の意見を叩く者は、眞に矍鑠たる元氣に驚くでせう。

口「今の男は筆の先でおまんまを食べて行く事斗り考へて居て困る。それに比らべると女の方がまだ勝してよく働らいて居る」とは、記者が刀自にお目にかゝつた時、最初に聞かされた言葉であります。そして刀自は功成り名遂げた今日も、決して分時を浪費せず、學校の指導經營はもとより、毎月婦人雜誌の卷頭を飾る意見を吐かれる事から、家に在つては澤庵の漬け方迄、心を配られるとの事です。

口其の昔盲目の良人に仕へ傾いた家政を執りつゝ、數人の子女を立派に教養された刀自は、或る時は糊口の爲め下駄の鼻緒迄打たれたと申すことです。大抵の人なら過勞の爲めに中途で斃れて終ふでせうのに、刀自が萬難を排して今日有終の美を完うせられんとしつゝなほ活動を續けらるる其の精力は、實に驚くべきものがあります。刀自を以て古い型の婦人と申すなら、今日の女子は宜しく其の古き婦人から、拔くべからざる一種の強さを學ぶべきでありませう。（エム、ケイ）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

年中絶えぬ
日本人の花見
米國人の觀察

安中花子譯

□米國人には想像もつかぬ「花見」といふ日本語は英語に譯語の見當らぬ言葉で御座います。是に最も近い譯としては「花を見に行く」とでも言ふのでせうが、「花見」といふ一小語に含まれて居る總べての意味は到底そんなもので表はす事は出來ません。

晴れ渡つた五月の朝、假りに私共の國の男子達が今日は一日掛けで何處かの林檎畑へ見物に行くと言ひ出したと致しましたならどんなものでせう、殆ど正氣の沙汰とは思ひますまい。然し日本では斯うした事は少しも珍らしくは無いのです。確かに他には一寸類の無い慣習で御座いませう

一般のアメリカ人には想像も附かないやうなみやび心が、日本人の彼の機敏な事務觀念と打算心の中に入り交つて居るのを見る時全く思ひ半ばに過ぎます。

□梅見に續く菖蒲

二月の末頃には既に淡紅色の梅の蕾がほころび初め、三月には菖蒲園(譯者云ふこれは記者の思ひ違ひなるべし)が盛りになります。菖蒲に一番名を得て居るのは首都から三哩ばかり離れた處で、此の上汚いのは無いと思はれる位むさくろしい小舟にすゝけて油ぎつた顏付の人達と同乘して其處へ行くのです。然し舟から上つて陸に足を附けた瞬間、あらゆる不快は忘れて仕舞ひます。濃き、淺き、紫の色とりどりの花あやめは幾千幾萬とも數へ切れぬやう、其の間で祖父母より逐此の頃出産のみどり兒迄出揃うた家族が幾組となく、今日を晴と着かざつて足の運びもゆるやかに花のかほりに醉はされつゝ心ゆくまで其の風雅心を滿たして居るのです。

暫くすると今度は藤棚が美の庵と化し、其の下には誰でも行つて割籠を開けるやう、茶店がしつらへられます。日本人の頭には決して一二時間で花を見て來ようなどゝいふ考はありません、必ず辨當持參で一日を暮して參るので御座います。

□櫻花を見る歡喜

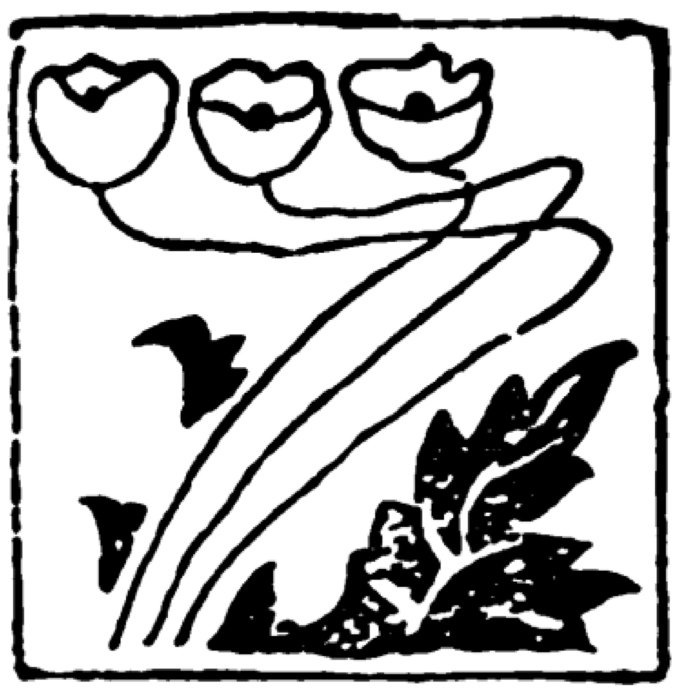
櫻の季節は申すまでもなく一年中一番の時で御座います薄桃色の其の花は、私共の國の林檎の花とあまり違ひませぬがプライス、コリヤー氏が申された通り「街路に公園に美しい並木をなして居る此の桃色の花に似たものも無いでは無いが、彼等が此の花に對して持つて居る國民的の誇と歡喜は何處にも比類を見られぬ」處で御座います。日本人といふ日本人はあらゆる花を通じて彼等の此の櫻に勝つたものは未だ咲き出でたためし無く、又是より以後にも決して表はれぬと信じて居ります其の狂熱的態度は時に實利主義の西洋人の眼には奇妙に映る事もあります。

□年中絶えぬ

夏はつゝじの世界で東京市中の公園には大抵之が植ゑ付けてあります。秋は菊と紅葉をもたらして參ります。斯樣に日本人が其の固有の美的感念を滿足さすべく一日をさいて「花見」に行けぬ月は一年中に殆ど一ケ月も御座いませぬ

(近著のアンウォードより)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



隠れたる孤兒の母（三）

罪の子の生れ更はる嬉しさに 三十年の月日をいつしか過す

□五圓で賣られた娘

多くの女の中に、ある特殊部落から下の關のさる後暗い家に僅か五圓で賣られていつた娘があります。買はれた當時はまだ十三四歳の清らかな處女でありましたが彼女が身も心も穢れに染みたのは、夫れから餘り長い月日は要しませんでした。彼女は漸く女となつた時には、已に、既に、遊女の最も劣しき辻君とされてゐたのであります。下の關邊では辻君のことを總嫁と呼んでゐる。その數は千に近く其悉くが毎日晝頃にたつた一度主人からお粥の汁を啜らせられる以外に絶て食物と言ふのは與へられないさうです。

□食ひ物にありつく工夫

で飢えをしのぐ爲には勢ひ食物にありつく工夫を講じなければならない。その爲めに彼女は夕暮れ頃から小さな船を波間に操つて、港内に碇泊して居る船舶にこぎつけ、僅かな金で無理强ひに自分の血と肉とを切り賣りするのであります。そして運よくば船員の食べ殘りを何でも食べてお腹を充すのだと言ふ。眞實に生き甲斐のある生活をする爲めにこそ吾々は働きもすれ、食べもするものを、唯食ふために、飢を凌ぐ爲めに、しかも自分の身を切り賣りする彼女等の上を思ふと自ら暗い心にならずにはゐられません。之れも吾々同胞の婦人の仲間なのでありますから。五圓で買はれて行つた娘は日に〳〵苦痛に堪へず遁れて女史を賴つて長府に行き、女史の保護のもとに今は堅氣な女となつて吾が世の幸福を歌つてゐるさうであります。一度身を持ち崩した女が堅氣になるには、餘程の努力を要すると女史は仰有つてゐました。辻君から末を全くしたものは女史の手にかゝつた數名の中でも此の女許りだと申します。

□乞食から拾つた子

また或日のこと、三人兄弟の乞食の孤兒が女史の門前に立ちました。生れながらにして定まる家のなかつた身も、兩親を失つてからは愈々心寂しさの餘り他所ながら女史を賴つて來たのでしたが、人の家に這入ることの恐ろしさに半年あまり其の傍その近くを放浪してゐました。此の子達も何かをなす爲めに生れて來たものであらうものをと、女史は密かに思はれるともう一刻も捨てゝは置かれない心がして、何かとすかして連れ歸へり、湯に入れ、着物を着換えさせ、髮を剃つて體を淸めてやられました。漸く半月も經てから普通の子のやうに垢も落ち、虱もゐなくなつたさうですが、疊の上に坐ることは愚か、坐敷に上るのを嫌がつて毎日庭の土の上に坐つて人目を忍んで手つかみでのみ御飯を食べるのだつたと申します。夫れを止さす迄には一年以上の月日を要し、彼等特有の訛言を矯正するには數年の努力だつたと仰有います。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□普通の子供には

けれど彼等が普通の子供のやうになつた時にはもう他に何の欲望も思はなかつた程に、女史は歡びをお感じなすつたとか、夫れ等の種々な思ひ出を手操つて、『氏よりも育ちと、世の人は申しますが隨分幼ない時に引きとつた子でも、乞食の腹から生れ出た子と、特殊部落に籍を持つ子はなか〳〵普通の子の如く素直に育て上げるのは六ヶ敷く思はれました。何となく彼等の心の一隅には、人と融合せぬ分子が含まれてゐるやうで、夫れを取り退くのは大抵ではありませんでした。然し夫れが消えて姿を隱くした時の心うれしさ、自分の言葉の反應が子供の心の上に明かに見えて來た時のうれしさ。私は夫れのみを賴りに見知らぬ多くの子供を育て上げました。』と。かうして女史はその青春の三十年近くを哀れな孤兒の友となり母となつてゐられたのであります。尊き途を歩んだ人、その面影にゝマドンナの如き輝きがほの見えるやうに思はれます。幸多かれよ。（をはり）民子

水泳の初經驗

富津より歸りし女高師生徒の談

□去る七月十一日から廿四日迄の二週間を、富津の水泳場に、誰に憚かる處も無く、自由自在に遊泳して、三伏の夏も忘れて興じた東京女子高等師範生の廿七名は前にもました元氣をもつて再び都の人となりました。記者は近くその經驗の數々を伺ふ爲めに、第一寄宿舍をお訪れ致しました。

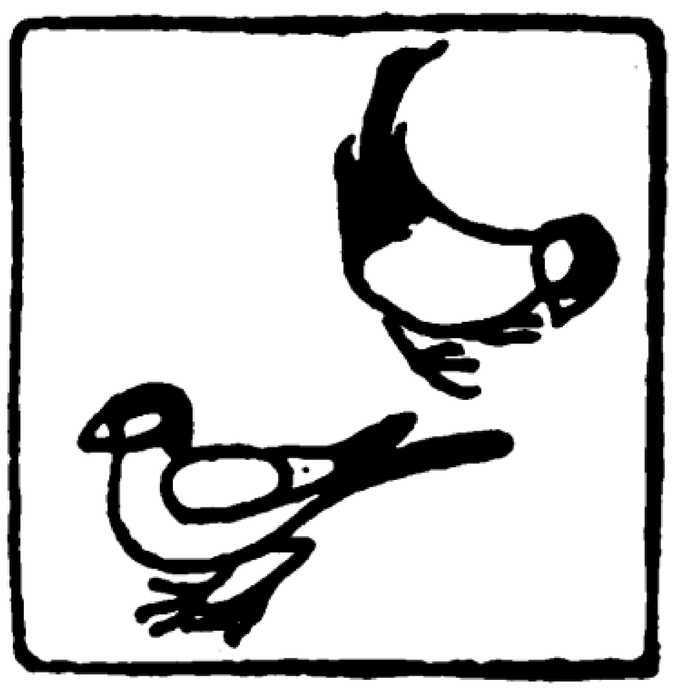
□「あゝ水泳のことですか」と、一部員は微笑んで、樂しかりし思ひ出の糸をくられるのでした。初めは例の目差しと申しまして、あの長い板の兩端に樽を結いて、浮かせてあるのに摑つて、兩足をばた〳〵させて浮くお稽古を致します。今年あたり成績の良い方は二三時間で浮きましたが、まあ普通は二三日かゝります。中には七日も八日もかゝる人もありますが、でも歸る頃までには七八丁乃至十丁位ゐは泳げるやうになりますの……けれども髮を濡らす事を嫌がるものですから、皆中々浮け無いで居ります。然し髮は一度水に浸けますと、後とは何ともなくなつてしまいます。

□「困難ですか？ 女の人は肺が弱いのでせうか、直ぐに呼吸がつまつて胸苦しくなつて參りますから、長く水の中に居られません。男子とは身體の組織が異つて居ますから、餘程丈夫の人でも非常に勞れてしまひます。も一つは男子に比べて非常に恐怖心が強い事です。私は川の經驗もあり、昨年も三週間泳ぎをして、初めての人よりはそんなに恐れも無い筈ですのに、一寸怖いと思ふともう泳げません。が一般に立てば背が立つ位ゐの淺い、然も遠淺で荒い波も無い處ですから、決して間違ひなどある筈が無いと云ふ自信をもつて居ても、少し遠く迄泳いで往つて、どうかした拍子に青い水を見て、ハット思ひますと堪らなく恐しくなつて、泳ぎを續けることは出來ないやうです。斯んな事が原因して、男のやうに早く進歩しないのでは無いかと思ひます。」

□「シンプルな身體全體が一とまとめになつた樣な、手も足も、自由自在に、思ひのまゝに振り舞れるあの氣分は、全く水の中以外に求める事は出來ません。又海から上つて入浴した時の輕い勞れと清々しさとはまるで夢のやうな感がされます。それに彼の邊は遠くは富士、房總、近くは人見、鋸の諸山の眺望もありますし、周圍の漁家には、そこにも此處にも山百合や鬼百合の紅白が入り亂れて、中に南瓜の黄色い花を咲かせる等、自と畫中の思がありま す。

「危急の場合には如何でせう。」と記者がお伺ひ致しますと「さあ！着物もあるし、浪も荒れて居りますから、餘つ程上手になつても……」と云ひかけて「でも命の瀬戸際ですもの、一生懸命浮き上るやうに努めますゝ。泳げなくても浮いてさへ居ればどうにかなりますから」、「でも初めから歸る迄、目差のパタ〳〵だけで浮けなかつた人もございますが」、「まあ、そんな方はどうせ浮ばれない方でせう」と、大笑ひしてお暇いたしました。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



洗濯のしかた

地質を痛めぬ注意と色の出るのを防ぐ法

中村高等女学校教諭　河口愛子

□餘り薬品は用ひぬ

私は洗濯には、あまり薬品を用ひない事にして居ります。それはほんの分量の差で、少し多過ぎたりする為に地質を痛めたり、色が褪めたりする事がありますから、出来るだけ薬でなくて、経済と手数とを省いた、あぶなげの無いものを用ひ度いと思つて居ります。それには極く普通のものとしては、灰汁を作ることです。曹達と同じ性分を以つて居て、同じだけの効果があり、其の上に分量が多過ぎても、決して地質を痛め染色をおとす事はありません。

□長く貯つておく物

けれども灰汁のない時には、白地や麻は、石鹸に曹達で洗ふのですが、もしそれでも、特別に汚れて居るもので、思ふやうに白くならないものは、カレキを極く少量水で溶いて、重炭酸曹達を其の中に一寸入れて洗ひます。(洗ふ時は揉ずにブラシで洗ふのがよろしい。)そして、濯ぎは叮嚀に致さなければなりません、その時に次亜硫酸曹達をほんの少量だけ、水に溶いて、充分に濯ぎます。夏の木綿ものなどは、石鹸を用ひましても、一と夏の間に幾度も〳〵洗ひますから、濯ぎさへ充分に致せば宜しうございますが、一體に石鹸には、脂肪分があつて、それは水には溶けませんから、長〳〵しまつて置く物には、時に黴のつく事があります。それ故微温湯で一度濯いで其の脂肪を取つてしまひます。又大層光澤を消しますから、光澤の無くなつて悪いものには用ひられません。而し物によつては石鹸で煮るのもよろしうございます。

□色物を洗ふ注意

色物を洗ふ時には、木綿物でも曹達は用ひません。石鹸水か、豆腐の絞り汁があれば、これで洗ふのに越した事はありません。でなければ雨水もよろしい。熱い湯は絶對にいけません。そして長く浸けて置けば置く程色が褪せますから、浸けたらばすぐに洗ひます。洗ふ前に、ブラシで塵をよく拂つて、特別に汚れた處に、白糸で縫ひ印をして置いて、やはりブラシ洗に致します。烈しく汚れて居る處は、ブラシで叩きながら洗つて参ります。凡て揉みますことは、染色を餘計におとしたり、地を痛めますから、避けなければなりません。然し紅染め等の酷くおちさうの色物は、初め濡す前に一寸不用の處を水につけてためして見て、前記の方法で心もとなく思ひました時には絹でも木綿でも焼明礬を薄く水で溶した中に浸して、色ざめを致してから洗ひます。新らしい紺絣紺足袋等は、汚れた處だけ輕くブラシで洗つて、あとは着物ならば袖疊みにして水を充分に含ませ輕く兩手で壓して、盥の水を含ませたり、吐かせたりすれば全然奇麗になります。紺や藍は明礬で色どめするよりも。酢を一寸落した方が宜しうございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

避暑地先で出來る野菜

西洋チサと二十日大根

千葉晩香

□西洋チサの種類

西洋チサは莖葉が軟かでありますから洋食のサラドとして廣く需要されますので、各家庭に於ても此チサの栽培は至極必要な事と思はれます。元來が成長迅速なもので、栽培とても至つて容易なので、謂はゞ蒔付け放しでも採收が出來る程の無雜作なものであります。

種類は結球とて葉が玉の様になるものと、葉が縮むもの及普通のものと色々ありますが、同じチサでも葉の黑ズンだものは味が劣つて居りまして、葉が稍々黄ばみかゝつたものが美味であります。

□栽培する時

之を栽培するには砂土交りの水排よき所に種子を撒播するのです。只今頃ですと日光の當り方が烈い爲に、發芽が思ふ様にしません事があります。其心配の無い様にするには、種子を蒔付けましたら、上部を葭簀の様なもので覆をして發芽を待ちまして、苗が餘程大きくなる迄は此覆の下で生長させるのです。此種子を蒔付けましたものを間引きまして成長せしめましても、或は此播種の儘で其片隅から採收して食膳に上せてもよいのですが、出來る事ならば一度間引きましてそれを更に肥沃な砂質の土地に株間五寸内外に植替ますと、上乘なものが得られます。

□種子を蒔く時

一體種子が細かなものでありますので土をかけ過ぎますと、稍もすれば發芽の歩合が少ないのですから、土をかけます時はヤット、種子が埋まつた位の所がよいのです。勿論種子を蒔付ます所は、前々から能く耕して平地より四五寸高く排水よき様にした所でなくてはなりませんのです。種子の發芽を十分に、種子の乾

十二

家庭で簡易に行ふ

顔面マッサージ

■■永久の美を保つ■■

■■老せぬ容貌美し■■

クラブ洗粉を掌に取り、それと同じ分量の湯か水で溶き、襟から顔にかけて塗り摩擦しながら洗ひ流し、手觸りの滑かになつた處をタオルかガーゼでよく拭いて水分を去り、乾いた肌へクラブマッセークリームを少量クラブマッセー溶液で溶き、乳狀にしたのを襟から咽喉にかけて塗り、水分の乾かぬ間に、兩手の指先を主として兩手掌で下から上に向けて摩擦しますと、垢のやうになつてクリームの作用で皮膚の汚れを隅々まで包容して落ち、生地の美しい色艶が出て、血色が生々と致します、これと同じ方法でお顔の方もマッサージを致しますと、頬の肉附も、眼尻の小皺も、額の皺も、次第に薄くなつて、若々しい容貌は永久に美しく輝き渡ります。

マッサージを終へましたらクラブ化粧水を薄く引いて、よく〳〵擦り込むやうになさいますか、又はクラブ美身乳液を擦

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

燥せぬ様に苗床の上に少し許りの藁をかけて置くと發芽も能く、又大雨の場合などに種子を洗ひ去らるゝ事はありません。此栽培は半坪園藝でも、或は一坪でも乃至箱蒔付でも出來る事であります。

□廿日大根の栽培

モウ八月になると大根や菜の播種時季になりますが、家庭に於て短日月の間に栽培して見ようと思ふ大根は、矢張り二十日大根がよいのです此二十日大根にも種類が澤山あります。則ち赤色、白色、黄色、紫色、黒色のものがあります。是等は何れも其名の如く播種から採收まで二十日内外で出來るので此名があるのです。大根栽培に適する土質は砂土交りの壤土で、而して肥沃な土質が申分ないのです。斯様な土地を撰みまして、能く耕して其所に播種するのです。肥料は堆肥人糞などを基肥として種を蒔く時は木灰及人糞尿を施すのです。普通の畦巾及株間を取つて播種して、中耕及施肥を十分にするとよく採集されます。種子は價は少し高くも、正確な信用ある種苗商から買入ました方が安全であります。

野菜の料理

あつさりしたもの二三種

櫻井ちか子

□白瓜の胡麻酢和へ　白瓜の皮を剝き、種子を去つて四つ割に切り、小口から薄く切つて鹽揉みをし、一日洗つてよく水を絞つて置きます。別に胡麻を摺つて、砂糖(少々多量)に三杯酢で鹽梅したもの、中に前の白瓜を混ぜます。

□茄子の揚出し　茄子の皮を剝き、二分位の輪切に切つて鹽水に暫らくつけ、笊にあげて水を切り、更に布巾に取つてよく水氣を去ります。別に鍋に胡麻油を二分通り入れ、沸騰させたら、その中で茄子を揚げ、柔かくなつた時箸ではさんで油氣を切り、他に作つて置いた鰹節醬油に一寸浸して、直ぐに皿に盛つて熱い中に食します。

□新蓮の煮附け　皮を剝いて適宜に切り、酢水に暫らくつけて置きます。而して水氣を取りましたら、清汁七分、水三分に砂糖を加へた汁を沸騰させて、その中に蓮を入れ、蓋をしないで煮るのです。煮えましたらば鰹節を入れます。蓮は黒くならない様に、あまり煮え過ぎないやうに、そして中まで汁の滲みない位の處が宜しい。箸で攪き廻し乍ら煮るのです。

□キヤベジの酢煮　キヤベジを五分位に切りざつと茹で水を絞り、酢と白砂糖に鹽を加へて、味のつくまで煮るのです。

□南瓜の鹽煮　皮を剝いて賽の目に切り、茹でゝ柔かくなつたら水を切つて、鹽と砂糖で味をつけます、

り込むやうにしてお附けになりますと、柔軟で滑かなお顔お襟の生地となりまして、色艶は得もいはぬ美しさになるのであります。皮膚は常に斯して手入を加へて置きますと、健康美は自然と素顔の上に現はれまして、お化粧をなさいましても、自然と素顔の美しさが白粉を透して化粧の上に輝き、故意とらしい白粉の嫌味がなく上品な氣高い淑女式の化粧が出來るやうになります。殊に附けて高尚で美しく、洗つた後までも生地の色艶が生來自然に白く美しいやうな色になるクラブ白粉とクラブ美の素白粉でお化粧をなさいますと、白粉と生地との合致した不離不即の至妙の美しいお化粧が出來るのであります、これが絶對に他の白粉には眞似の出來ないクラブ本店化學研究所で新に發見した美身劑の配合から生ずる天下一品の特色であります、常にクラブを愛用なさる方は他の白粉や化粧品を迷ひながらお用ひになるよりも、眞に幸福とはいはねばなりません。

眞面目な神聖なる家庭に
賞用せらるゝクラブ化粧品には
中元用クラブ進物函あり

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

久しぶりの故郷より

薄田斬雲

□停電又停電

錦を衣ないで故郷に歸るのは却々億劫なものです。然るに母の遺骨を葬ると云ふ必要條件は否應なし私を郷里に歸らせました。必要の爲には如何なる敵も凡て擊退されて了ひます。

ですが、人間萬事塞翁が馬とやら、不意の妨害が先づ電車の停電から始まりました。廿一日の夕方牛込の家を出て上野停車場に向つたら、本郷元町で停電になりました。十分餘り電車の立往生が隨分長い事に思はれました。次には末廣町で又停電です二十分も待つたが動きません、我慢し切れず下車して上野迄歩き、廣小路を越えると停車が動き出したのです。急がずば濡れざらましをと云ふ夕立雨の話も思ひ合はされますが、電車の停電ばかりは何時霽ると云ふ見當が付きません。文明の利器も大に厄介な事があります。出來る事ならお互樣自動車位は備へたいものです、全くです。

□荷物は兩國驛へ迷兒

妻子同行ですから、私丈け先づ停車場へ駈け付けて、他は電車の動くのを待つて上野驛へ着いたのです。處が、荷物車が來て居ません、私等より四十分も早く家を出た荷物ですから、疾く來て居るべき筈が、モウ六時の發車間近いのに未だ來て居ません。昨年は九十九里の方へ行く爲めに兩國へ荷を運ばせた車が後れて私は國技舘の前から後押しをしてやつと間に合つたから、今年は大事を取つて早く出した車です。今に來ないは不思議千萬、偶と考へ付くと、車屋が例年の通りと早合點して兩國驛へ行つて居るらしいのです『今年は上野だよ』と言つたのですが、碌々耳に入れなかつたのでせう。大失敗、モウ發車の號鈴ががらん〳〵と心を急き立てます。

□一揆暴動ても……！

一昨年は兩國驛で乘り後れた事も思ひ出されます。知人と兩國で會して、兩家族同伴する約束であつたのが、知人の家族は兩國驛の裏口から入り、私の方は表口から入り、双方共に他の違約を怨んで居る中に汽車が發つて了つたので、子供等は地だんだ踏んで泣き出すと云ふ慘めな滑稽を演じたのです。處が、今日は

上野行きの荷物が兩國へ行つてる次第。妨害の不意打ちです。

夫れに、秋田迄同行を約した友人の老母さんも見えません、電車の停電で途中立往生をし、明日朝九時の汽車に變更したのです。友人が後れ走せに駈け付けて其事を話します。然し私共は、牛込の住宅を閉鎖して來たのだから、一且引返すなどは面倒です。依て次の青森行き九時發車と決し、車屋へ電話をかけて兩國へ間違つて行つたらしい荷を詮議させやうと思ひましたが。朝日屋と云ふ俥屋の名が電話加入名簿に見えません。多分本名が乘つて居るのでせうが私等は本名を知りません。自働電話をかけるのでは甚だ手數になります。そこで妻は電車へ乘つて兩國へ見に行くと言つて電車へ乘りましたが、又も停電で動きません。私は

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いらいらして一揆暴動でも起したくなります。

□兩國驛員に感謝す

其中子供は空腹を訴へます、私は偶と一案を考へて、急ぎ妻に下車させましたが、此時妻に已は切符を切らせてあるので、五錢丈け電氣局へ空虚な忠義を盡くした次第です。之も癪に障ります、私の主義は、電車の切符は降りる時買ふと云ふので、停電中に切符を切るなどは愚の骨頂です。

扨て妻を下車させて近所の肉屋へ入り、其店の電話を利用しました。妻は電話を引受けて兩國の驛へ右の事情を告げ「朝日屋と云ふ車屋が居るなら呼んで貰ひたい」と頼んだのです。私の考では、兩國驛が其んな手數な事を承諾する筈がないから、先づ牛込なる朝日屋の本名を酒屋に聞合せ、直接朝日屋へ談判して、朝日屋から兩國に居る抱への若者へ交渉させたらと思つたのですが、妻は隨分向ふ見ずな事を兩國驛員へ交渉したのです、するど、何うでせう。驛員は大變丁寧に返答をして、遂う朝日屋の若者を見付け出して呉れたのです。此の親切は兩國驛に感謝しなければなりません

かくして私共は六時の奥羽線直行の豫定を變更し、九時の海岸線廻り青森急行へ乘りました。久しく經驗せざる晝夜通しの汽車旅行が腹立たしくて堪りませんでした。鄕里の弘前の親戚へは、漠然と「何日午後六時に上野を發車の豫定。但し確定せず、確定すれば打電する」と手紙を出して置いたのです。處が、別段必要もない事に電報を打つて大勢の迎へなど騷がせるのも兒戯に類して居ると考へ、電報も打たなかつたら、六時發車と勘定して豫定の着時に迎へに出たのが、皆々失望して散じた後で聞き、「無駄足を運ばせる位なら電報を打つのであつた」と後悔しました。先づ此度の樣な具合の惡い旅行は從來覺えないのでした。次には東京生活と地方の小都會生活の對照を書いて見ます。

オハナシ

太郎と苹果

花崖

「僕や次郎は何故茶目さんと遊んぢやいけないんでせう、お父さん。あの子其様に惡かありませんよ。それに少しは惡いからつて僕等直してやるからい丶や。ねお父さん、あの子と遊んでもい丶でせう？」と太郎が云ひました。するとお父さんは一語も口を利かないで其處にあつた大きい立派な苹果を四つ皿へ入れて其眞中へポツ／＼腐敗傷のついた惡い苹果を挾んで茶棚へ入れました。太郎は一體何をなさるのだろうと眼を丸くして居ましたが、お父さんは只お終ひに斯う一語だけ仰しやいました。

「二週間待つておいで。さうするとお前等が茶目と遊んぢやいけない理由が分るから。」

お父さんは何時でも嘘を仰しやつたことが無いので太郎も默つて二週間待つて居ました。さうして其日數が過ぎると太郎は又お父さんに茶目さんと遊んでい丶かと訊ねました。するとお父さんは又も無言で茶棚から例の苹果の皿を持ち出して來ました。四個の良い苹果は眞中の惡いのと同じにポツ／＼が出來て腐れかけて居ました。太郎は吃驚しました。其處でお父さんは仰しやいました。

「四個の良い苹果は只一個の惡い苹果を良くしてやりさうなものぢやないか。だのに一個惡いのがあると外の四個迄惡くなる。ね、子供も苹果も同樣だよ。一個惡いのがあると外の四個迄惡くなる。茶目と遊んぢやいけない理由が分つたろうね？」

太郎は顔を眞赤にして、

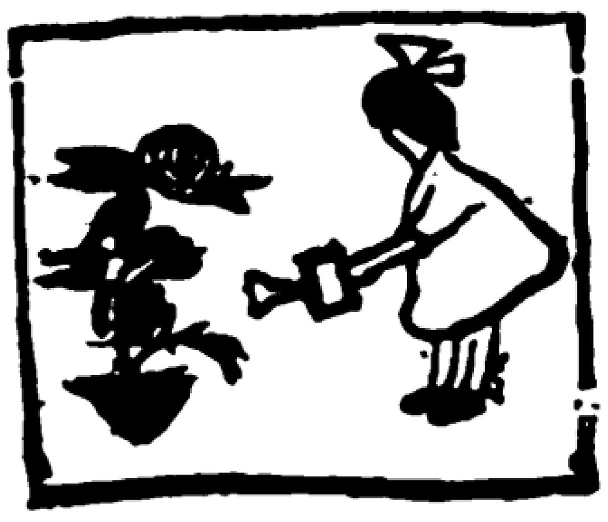
「もう僕あの子とは遊ばない」

と勇ましく答へました。

（をはり）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



孃ちゃん（三）

阪東みちゑ

十六

一年生受持ちの先生は福谷先生といつてふくら雀のやうに、ふつくらと肥えふとつた先生でした。顔なぞまる〳〵と丸くて眼がねをかけて居られました。此先生が私を大變に可愛がつて下さつたので私も此先生を大好きになりました。學課は作文と算術を敎へられました。作文の題に物羨みをする蛙といふのが出ました。先生が一度お話をしてあげるからそれを文章につゞつて來るのだと云はれました。昔ある井戸の中に大きな蟇が住んで居た、暗い井戸の中には井守とぼうふらの外に同居人がないものだから、蟇三は大變に偉らくなつてしまつて、自分ほど大きな動物は、世の中にゐないのだとばかり思ひ込んで居た。

ある日の事、伜の蟇一がお三どんの汲み上げる釣瓶にとまつて、青空のある明るみへ出て行つた。生れて始めて變てこな處へ連れ出された伜は、吃驚して大きなお口をぱく〳〵させたり、白い咽喉をピク〳〵させながら方々見廻して居た、するといきなり鼻の先でモーッと云ふ猛烈な唸り聲がした。ポチャンと釣瓶が井戸水の中へ這入る音の外は音響といふものを耳にした事のない蟇一は仰天して、平常から飛び出て居る目の玉を一層大きくして、その方角を見た。そこには尨大な黑い塊が大きな木の幹に縛りつけられたまゝうろ〳〵と動いて居た。なほよく見ると、その動いて居るものゝ一方のはしには、釣瓶繩を二倍にした位の太さの長いものがぴん〳〵左右にふられて居た。今一方のはしには先きの尖つた鼠色の物騷らしいものが二つ突き立つて居るその下の方に自分の身體ほどの大きさの目の玉のやうなものがぎら〳〵光つて居る。此怪物が柱ほどある四本の足でカチ〳〵と急しい音をたてながら、上に緑の葉の繁つた大木の周圍を焦慮つたさうにあちこちして居たので、蟇一の驚きやうは一通でなかつた。魂も潰れるほどであつた。やがて踏み殺されては大變だと氣がついたので、大急ぎでお三どんのふり動かして居る空釣瓶に乘つかけて難なく元の故巣へ歸りついた。

伜の姿が見えなくなつたので心配をして居た蟇三は、目ばかりぐら〳〵まはして歸つて來た蟇一を見るとほつとしたやうに、「一體どこへ行つて居たのだい」と訊いた。「實は今ちよいと娑婆世界へ上がつて行つて恐ろしいものを見て來たのだ」と答へる。「何だつたい、それは？」と父親が問ひかへす。「何だか知らないが恐ろしく大きなものだつたよ」「大きなものつてどんなのだい、おれより大きかつたかい？」「お前位の事かい、大きな〳〵ものなんだよ」「それぢやあこれ位だつたか」と云つて、蟇三は自分の腹を膨らせた。「いゝえ、それ位の事ではなかつたんだよ」「そんならこれでは？」と云ひながら、お腹をぽん〳〵に膨脹させた。蟇一は「いゝや、もつとだ〳〵」と云つてはり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

切れそうに大きくなつて來たお父さんのお腹をおもしろさうに見て居た、そして自分の見て來たものゝ大きさをどうして父親に知らせてよいかわからないものだから「お父様なんかいくつ集つたつて叶ひつこはないんだよ」と云つて見た。蟇三は「なにそんな事があるものか」と云つて、今一層の力を入れてお腹を張り出した、するとどういふはづみか、ぼんと云つて親蛙のお腹は裂けてしまつたといふ話でした。

おしまひの處が面白かつたから、私は思はず手を拍ちました。そして天井を向ひてあはゝゝゝと云つて笑ひました。するとそれが可笑しいとか云つて、みんながまたどつと笑ひました。私はまた笑はれたと思つて少し腹が立つたから、知らん顔をして横をむいて居ると、稲谷先生が、私の机の前まで來て「あなたは快活だからおもしろい」と云つて褒められました。その時から、私は先生が好きになつて、先生は私を可愛がるやうになりました。教場を出る時、先生が「今度の日曜に宅へ遊びにおいでなさい」と云はれました。嬉しかつたから、日曜の來るのを待ちかねて先生のお宅へ行きました。玄關つきの小奇麗な家であつた。人の好さゝうな婆やが取り次ぎに出た。先生はお家かと訊くと、「はい〱どうぞ」と云つて引きあげた。先生は床の間の花瓶に大きな白百合の花を投げ込んで居られた。私を見ると、「よく來て下さつた、待つて居た」、とよい御機嫌である。何か御馳走をしてあげやうかと云はれるから、黍團子のお汁粉が食べたいと云つたら、そんなら直にこしらへてあげるからと云つて、婆やを呼んでその由を命せられた。「お砂糖を澤山入れてね」と注意をしながら。

ありのまゝ

皆様の御生活のありのまゝを二十行内外に御投稿下さい

口初めて編輯室を訪ふて

可成久しい間、活字を通してのみお親しみ申してゐた先生と、今日目の當り對坐してお話したと云ふ事が、夢のやうに嬉しうございます。御多忙中温くおもてなし下さいまして、有難う存じました。小さい薔薇の油繪や、階上の書物の金文字や、愉快さうな皆様の御笑顔や、愛らしい嬢の幻などが、チラ〱と疲れた眼を横切つて走ります。婦人週報社の第一印象は、多様の色彩を伴つて、いつまでも私の腦裡に刻まれてゐる事でございませう。婦人の手によつて成るといふ事は、婦人週報に對する私の愛と希望をより深め強めるのでございます。その未來は一大社會的勢力となつて、内的にも外的にも多數の人々の要求を充すのであらうと信じて居ます。お言葉に甘へて、又お訪れ致すかも知れません。若い私共の助けとなつていつ迄も御健闘で導き下さいまし。（芝白金大塔房）

▲度々御來訪下すつた御友情誠に忝けなく存じます。皆様方が若やかな思想をお運び下さる事は、私共にとつても嬉しい學問でございます（記者）

口秋蠶に母の手助けして

靜かな甲斐の里に住む私は、今秋蠶に忙しい母を助けて、毎日〱働いて居ります。暑さも忘れてせつせと働きます事はほんとに愉快に感じまして、とても山に海に御避暑生活を遊ばす方々の想像も及ばぬ事と存じます。

土曜日の來るのを、毎日樂しみに待つて居ります身は、その日雜誌を手に致します時の喜ばしさは、とても〱言葉などに云ひつくされぬ程でございます。母も一緒に喜んで讀んで居ります。そこで「ありのまゝ」に出してはどうかと思ひましたので、拙い筆をとつて一寸認めました。（甲斐の里百合子）

▲しんみりと底力のある御生活振りが目に見えて、誠に喜ばしう存じます。母君と共に終日清い汗を流して、夕ぐれまた御一緒に讀書して樂しまるゝなど、勞働の中に進歩ある御家のさまは、眞に理想郷のやうに伺はれます（記者）

十七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□明治天皇御四年祭　明治天皇御四年祭の御儀は、卅日午前八時卅分より皇靈殿に於て行はれました。此の日伏見宮桃山御陵に於ても、勅使宮地掌典參進、莊嚴なる山陵奉幣の御儀がありました。

□李王世子の弟君薨去　昨年八月御誕生の李太王殿下王子安嗣子の方には、二十五日京城にて薨去の趣き電報に接し、御兄君なる李王世子垠殿下には御見學の旅行を御見合せ遊ばされました。

◉直訴事件の責任者懲戒　去月十日帝國大學に行幸の御道筋に於て起りたる、不敬事件は廿八日畏き邊りの思召をもつて、西久保警視總監、野口警務部長以下諸責懲戒及び極めて少額の減俸といふ處分を受け、何れも御寬恕に感泣致しました。

◉米國の三島買收　米國が丁抹より西印度諸島中のセント、ドーマス、セント、ジヨンス及びサンタクルーズの三島を、五百萬弗にて讓り受くるの議は、既に調印濟みとなりましたさうですか、米國が西印度諸島を其の手に收めんとするは殆ど五十年來の企圖ですが、種々の事情に妨げられて果すことが出來なかつたのを、今回愈其の望を果すに至つたのだと申す事です。

◉英國船長の銃殺　昨年三月獨逸官憲の手に捕へられたる英國汽船ブラッセル號船長フリアッド卿は、獨逸潜航艇を觸角にて沈没せしめんとしたる廉を以て銃殺せられました。當時は獨逸が頻りに中立國の商船をも何等の警告なしに擊沈したる時の事とて、在伯林の米國大使館はこれが處置に就ては種々斡旋の勞を取りましたが遂に効なく、これが爲め所々に批難の聲が高うございます。

◉獨逸の婦女に勞働案提出　西部普魯西に於ては、農作品收穫の爲め婦人並に小供を召集するの法案が提出されました。それは全く强制的で、もしも違法したものは、禁個一ヶ年罰金七十五磅の刑に處せらるゝ由。

◉紐育全市を驚かせる大震動　米國ニュージャーシ州コンムニパウ附近所在なるナショナル、ストーレーヂ會社の工場で聯合軍に發送すべき彈藥を積載せる貨車百臺と、艀船數隻に爆發起り、爆音續發三十餘回に及び、紐育を中心として附近に震動起り、同工場を初め破壞せし建物も多く、死者傷者も多數出したと傳へられます。損害は七百萬弗に及んだとの事です。

◉土耳其婦人の愁訴　歐洲大戰亂の爲めに虐げられし土耳其にては、此の程五六千名の婦人が、君府なる土耳其帝の宮殿に集つて、口々に「速かに戰爭を廢せよ」と頻りに平和克復を訴へたと申します。

◉午前午後の區別を廢す　大北電信會社では、本月一日から同社を通過する電報時刻の記載方に對して、午前午後の區別を廢し、例へば、午後三時を呼ぶに單に十五時と云ふやうに、廿四時の通し時刻を使用する旨を遞信省に通知がありました。が同時に支那でも此の記載方を採用する趣きです。歐米の一部では久しい以前からこの制度を用ひて居るとのことですが東洋に於ては新らしい試みです。

◉闘犬禁止さる　從來市内各所に行はれて居る闘犬は益々盛になる傾きを示し、それが爲めに諸種の弊害を醸し、一面には人類の殘酷性を助成せしむる等面白からざる事情多き爲め、警視廳にては七月廿六日を以って闘犬、闘雞、闘牛等を禁止いたしました。

◉稀に見る颱風　去る廿七日夜來の颱風にて各所の被害多く、河川の氾濫して橋梁を流失し、又は堤防、崖の崩るゝもの多く、爲めに交通杜絶し、或は浸水する等枚擧に暇ありませんが、中にも、千葉縣下にては貨車六輛の粉韲、數名の無殘なる壓死者及び重傷者を出しました。尚ほ東京府下も卅一日に至り千住、三河島、日暮里、尾久、王子等一帶に浸水し、下谷淺草等の如きも低地は出水し、電車は雷門、南千住間及び三輪車庫先きは運轉中止となりました。

◉五博士の出發　歐米へ出張仰せ付けられた芳賀矢一、岡田和一郎、斯波忠三郎、田代義徳、稻垣乙平氏等の五博士は愈去月卅一日午後三時横濱解纜の天洋丸にて渡米の途に就きました。尚當日岡田博士令孃和子夫人は倫敦留學中の良人を迎へ傍々見學の爲同行せられましたので、當日東京驛は朝野の名士及び夫人令孃方の見送人無慮千餘名の夥しきに及び殆ど身じろぎも出來ぬ有樣でした。

◉暹羅皇弟入京　ソンクラ、ナカリン殿下には天洋丸にて今回米國留學の途次、廿七日神戸に御寄港あらせられました。

◉米國生活の實地教授　日本基督教女子青年會では移民中、主として寫眞結婚によりて渡米する婦人を目的として、渡航前の啓發、船中の啓發及び保護、着米後の啓發及び指導の三段に分つて保護事業に當ることゝなりました。其の第一歩として横濱に洋館を建て、一切の家具及び服裝等を取揃へて、米國生活の實地教授を爲し、乘船の際は、それ等の婦人中より監督者を選拔して、航海中の監督をなさしめ、着米後は各地の女子青年會員に傳へて、種々援助を與へられるやうに取り計られるとの事です。

◉錦着て懐しの故郷に　牛込河田町の女子醫學專門學校を昨年卒業し、爾來一個年帝大及三井病院に於て研究を重ねてゐた支那留學生の蘇淑貞さん(二七)と錢旭琴さん(二五)との兩人は、此程いよ〳〵學

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

成つて、錢さんは上海の公立病院の產婦人科を、蘇さんは廣東病院の產婦人科を擔當することになつて歸國しました。錢さんは蘇州の人、蘇さんは廣東の人で共に選ばれて官費生となつて來たのでした。

◉**海上學校**　京都市教育會の主催になる、夏季休暇を利用して少年少女のために開設された、海上學校は、三百七十名の會員と附添人とを合せて四百餘名の多數に達しました。一行は八月三日大阪築港から商船會社の龍田川丸にて乘船し、須磨明石より吳嚴島を見物し、瀨戸内海の風光に親しみ乍ら附近の名勝を探り、高松鳴戸を廻つて九日京都に歸る豫定です。尙ほ久留島武彥氏は古蹟講演部主任として、小南京大助教授は醫員主任として、一行に加はられる事になつて居ります。季節柄誠にふさはしい企てと存じます。

◉**滿鮮旅行の女高師生歸る**　去月十一日滿鮮旅行の途についた、東京女高師生徒十一名と職員七名は先づ釜山に上陸、仁川京城平壤を經て、南滿洲一帶の視察を終へ、三十一日午前歸京しました。一行は京城の學校で、李太王のお孫樣が日本の唱歌を歌はれたのと、日露戰役に從軍した市川醫務補の案内で、東鷄冠山等の戰塲に至つて、當時の有樣を見聞した時、一同愕然として謂ひ知れぬ感慨にうたれたと申します。

個人消息

▲**阿部篤子**(愛國婦人會長、伯母堂)　本鄕西片町の邸宅に靜養中ですが、近く何れかへ避暑す可しと。

▲**濱尾作子**(同副會長、男爵夫人)　目下信州輕井澤に在り。

▲**蜂須賀隨子**(侯爵夫人)　二十六日良人と共に但馬城の崎溫泉に避暑

▲**古市幸子**(工學博士夫人)　八月五日上野發輕井澤に避暑。

▲**津田梅子**(女子英學塾長)　二十日出發上州地行旅行を終へ例年通り鎌倉の別邸に避暑の由。

▲**柴田淑子**(家門氏夫人)　二十六日家族同伴にて濱松へ避暑。

▲**仁尾業子**(貴族院議員夫人)　數日前鎌倉の別邸へ引還されました。

▲**高木錦子**(橫濱貿業家)　良人八十男氏久しく病氣の處、廿六日遂に逝去せらる。

▲**矢島楫子**　三日出發北海道札幌に避暑せらる。

▲**廣岡淺子**　御殿塲に避暑中の處、一日より日野眞澄氏を聘して、神學研究を始められ、有志の聽講を許しつゝありと。

公娼廢止運動費

本社宛寄附の分(一口金五錢)

廣吉ふき(十口)渡部スヾ(五口)石原マス

小計十六口　累計六百〇一口

□**某美術家の家庭にて**　家事一切なたさへば看護婦位職業的に取扱つてくれる女中を求めて居ります。(記者)

□**橫濱在住の西洋婦人**　が、一切か世話してくれる正直な少し教育のある女中を求めて居ります。(記者)

編輯室より

▲或の日青磁色の心地よい封書が編輯室の机上に置かれました。發信人は女子高等師範學校長の中川謙二郎氏です。▲中にはこう記してありました。「拜啓益御清榮婦人界の爲に御盡瘁下され候事を深く拜謝仕候特に婦人週報の爲に御力を添へられ候事を感謝仕候右週報毎號御贈與を辱うし拜讀仕居候偖甚失禮に存候へども金五圓也貴社振替に拂込置候間御受領下され右週報費に加へられ候はゞ幸に存上候敬具」と思ひ掛けぬ御奬勵を受けて、同人一同は深く感謝致して居ります。▲この大雨に出水の個所も尠なからずありました。讀者諸氏の中には、或は難に遭はれた方もあらうかと、御案じ申して居ります。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(每週金曜發行)

定價表

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金貳拾錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、四)	金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)	金廿五圓
△貳等(色紙の表側)	金廿貳圓
△參等(色紙の内側)	金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地

印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地

發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町六二一番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります
和洋服　外套　インバネス　東コート
ネル・セル・ショール
襟毛皮等のクリーニングと染色を
丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館　帝國ホテル　御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際　電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町三三五七

齒科

ドクトル　富田貞一
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）
電話浪花五四〇五

かつけ特効藥

手足のシビレむくみを去り
心臟を強め衝心を防ぐ

新藥　**ブラニン**

一瓶【八日强】金六十錢　送料不要

發賣元　目白藥局
東京市小石川高田老松町
振替東京三一六九二

産科、婦人科、小兒科

女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

内科 小兒科　第一家庭病院

院長　醫學士　加用信憲
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇二）
（入院隨時）

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初步より學ばれんとする者にも懇切に敎授す。家庭的寄宿舍の設けあり。
ピアノ個人敎授の需めに應ず

本鄕區彌生町三番地
英語專門私立　櫻井女塾
電話下谷六八一五番

技藝夏期講習會

八月中都下一流の專門大家を講師として左記九科目の短期夏期講習會を開催す。個人敎授の方法なれば入會何時にても差支へなし。
●袋物●刺繡●行體摘書●摘細工●壜細工●縫細工●儀式用折紙●水引の結方
會費は各科共普通科壹圓、高等科壹圓五拾錢

東京麴町九段靖國神社右横
大妻技藝傳習所

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

大黒天印甲斐産葡萄酒

本品は純粋生葡萄酒にして品質優秀香味佳良薬用に適す。

大黒天印宮崎葡萄液

本品は赤白の二種ありて共に葡萄の果汁にして美味且滋養に富む毫も酒精分を含まざる故に飲て酔ふ事なく常に飲用せらるゝ時は血を増し肉を肥し衛生上無二の飲料なり。

宮内省御用達

發賣元

東京市日本橋區通旅籠町二番地

甲斐産商店 宮崎光太郎

電話浪花八七〇番 振替口座一九三七番

新女界

第八巻 第八號

八月號

見本進呈

一部十錢 半年七十二錢 一年一圓四十錢

□女子の月桂冠……海老名彈正
□日本婦人は何故發達せざるか……志立たき子
□南洋土産……法學士 鶴見祐輔
□兒童の養護……三田谷啓
□感謝と思出……海老名みや子
□忘られぬ夏……諸家
□愛の蘇生……高橋茂
□故山室夫人を悼む……野口精子
□亡き妻の事ども……山室軍平
□同人主張……
□此頃の事ども……安井哲子

東京小石川區林町四三
新人社
振替東京一四〇〇五

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA